

事務事業評価シート 令和 1 年度事後評価・決算

令和 3 年 2 月 22 日時点

事務事業計画シート						所管課		子育て支援課		担当班	保育班		
事務事業名		15920	親と子どもの絆プロジェクト事業		予算科目	会計		款	項	目	事業種別	☑ 主な事業（重点施策）	
						一般		3	3	1		☐ 国土強靱化地域計画	
施策体系	基本施策	7	子育て支援の充実		根拠法令	旭市親と子どもの絆プロジェクト事業交付要領						☐ 新市建設計画	
	施策の展開	15	結婚・子育て環境の整備		戦略事業	75	親と子どもの絆プロジェクト事業					☐ 定住自立圏構想	
	施策の展開				戦略事業							☐ 主要事業	

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない				
☒ 単年度繰返 ☒ 平成 28 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで	児童の豊かな心を育むことを目的として、人間形成が培われる幼児期の児童に対し、民間保育所(5ヶ所)、民間幼稚園(1ヶ所)、認定こども園(3ヶ所)、公設民営保育所(1か所)、その他団体(旭市立保育所後援会、旭市立保育所連絡協議会 13団体)が企画する、親子や世代間、地域の交流などの事業に要する経費を助成する。補助額上限10万円。				
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化		⑤ 事務事業に対する住民からの意見等		
核家族化や少子化が進む中、親子や世代間、地域間の交流の場を提供することで、児童の豊かな心を育む。	核家族化に児童が、世代間や地域間でふれあう場が少なくなり、絆が薄くなっている。		各団の意見として、日頃、児童との交流の場の少ないお年寄りや、地域の方々と交流ができ、また親子の絆も深めた。		

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(1年度の決算)		単位:千円	単位	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	1年度(決算)	2年度(予算)
1.負担金及び補助金	2,314	親と子どもの絆プロジェクト事業補助金(22団体)	千円	2,323	2,300	2,300	2,314	2,414
② 特定財源の内訳(1年度の決算)		単位:千円	事業費計 (A)	2,323	2,300	2,300	2,314	2,414
1.国庫支出金			1. 国庫支出金					
2.都道府県支出金			2. 都道府県支出金					
3.地方債			3. 地方債					
4.その他	2,300	ふるさと応援基金繰入金	4. その他				2,300	
			5. 一般財源	2,323	2,300	2,300	14	2,414

前年度増減理由	補助金の額が微増したため
---------	--------------

従事職員数 常時 1 人 最大 2 人 × 30 日 = 延べ 60 人

(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	③ 活動指標名	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	1年度(実績)	2年度(計画)
	1年度実績(1年度に行った主な活動)	ア 実施団体数	箇所	23	23	23	22	23
目的	民間保育所、認定こども園、民間幼稚園、各保育所後援会が実施する、親と子ども等による交流事業に要する経費を助成した。	イ 関係園児童数	人	2,058	2,227	2,279	2,032	2,200
	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標名	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	1年度(実績)	2年度(計画)
対象	園児、保護者、地域住民	ア 親と子どもの絆プロジェクト事業を活用して行われた事業数	件	51	58	58	55	56
	意図 様々な交流により児童の豊かな心を育む	イ 事業参加延人数	人	11,210	12,833	13,827	12,765	11,200
対象	園児、保護者、地域住民							
	意図 保育活動に対する理解を深める							

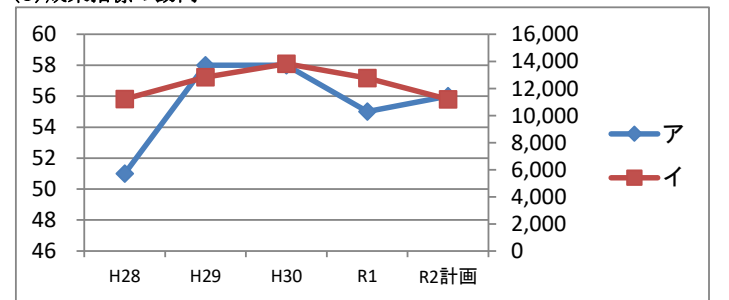
(4) 事務事業優先度評価の結果

①成果優先度評価結果			成果向上余地		
		成果向上余地			
		かなり ある	ある程 度ある	ほとん どない	
施策 貢献 度	大きい	①			
	普通				
	小さい				

②コスト削減優先度評価結果			コスト比率		
		コスト比率			
		下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3	
評価 結果	成果 優先 度	①	(1)		
		②			
		③			
		④⑤			
		⑥			
		⑦⑧			
		⑨			

② コスト削減優先度評価結果		コスト比率		
評価結果	①	下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
		(1)		
②				
③				
④⑤				
⑥				
⑦⑧				
⑨				

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

① 進捗状況	☐ 完了 ☐ 順調 ☒ 概ね順調 ☐ 停滞 ☐ 実施困難				
【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)					
② 成果の状況	成果指標ア	成果指標イ	数値増＝成果向上	数値増＝成果向上	数値増＝成果向上
【コメント】 (低下の場合、その理由)	実施事業数が減ったため				
③ 今年度取組事項 (2年度に取り組む主な事項について記載)	時期	内容	今後の方向性	現状維持	見直し
		継続して実施		現状維持	見直し